

釜山の観光地 海雲台の紹介

釜山広域市派遣職員 金東元

私は、釜山広域市から派遣職員として下関市国際課で勤務している金東元と申します。昨年8月に下関市へ来て、約1年3か月が経ちました。下関市で一番気に入っていることは、市民の皆さんへ実施している韓国語講座と静かな雰囲気での生活です。

今回、私が住んでいる釜山の海雲台について紹介します。

海雲台は、韓国の有名な名勝地、8つの中の一つで、美しい海水浴場で知られています。夏休みになると、全国から約1000万人の人々が訪れます。

海雲台が有名な理由は、浜辺から見る日の出と海雲台にある、タルマジキル（月見の坂）という場所から見る夕暮れと月がとても美しいからです。このエリアには、最近カフェがたくさん出来て、若者達に人気がありカフェの街と呼ばれています。海雲台の海水浴場は全長約2キロあり、周辺の建物とイルミネーションが相まって、とてもきれいな夜景を見ることができます。

そして、海雲台は1年中いろんなイベントがあります。

毎年1月には北極熊水泳祭りが行われます。北極熊水泳祭りは、イギリスのBBC放送から世界10大冬のスポーツに選定されました。冬に水泳大会が行われるのは、とても珍しいので、人気のイベントの一つとなっています。

次に、5月には海雲台の砂祭りが行われます。海水浴場に、世界の名作の主人公や有名な建築物など独創的な砂の作品が沢山作られます。この作品は、ちょっとした波では崩れたりしないのが特徴です。

また、8月には海雲台のみならず、釜山の海水浴場では海祭りが行われます。

夏休み中の1週間、海水浴場のいたるところで多彩なイベントが繰り広げられ、多くの人たちが海水浴場を訪れます。特に海雲台は、全国から遊びに来る若者達であふれかえります。また、外国からの観光客も参加出来る様々なイベントも開催され、とても賑やかになります。

10月には釜山の花火大会が行われます。広安大橋と広安里の海水浴場で約10万発の花火を打ち上げます。この花火を見に、全国から約150万人の人々が来て、花火を楽しんでいます。

また、同じ時期には釜山国際映画祭もあります。この時期になると、韓国ドラマや映画で人気がある俳優を見に、多くの日本人観光客が訪れます。「映画の殿堂」の建物は本当に美しく、映画祭では開会式や閉会式などが開かれます。映画祭の間中は、俳優や監督のインタビューを間近に見る機会や、映画監督と作品に関するワークショップの時間もあります。

釜山は、下関と同じように海に面しており、関釜フェリーが毎日就航しているので、いつでも行くことができます。下関市は釜山市にとって、他の都市よりも交流が多く、重要な都市の一つです。お互いに訪問しながら、姉妹都市の友情を深め、市民同士がもっと親しくなっ

